

令和6年8月31日

県南地区・すみれ会8月交流会報告

日時	令和6年8月30日(金) 10:00~12:00
場所	サンアビリティーズ一関 多目的ホール
内容	「ミニ勉強会③」一般公開(市の健康だより募集案内掲載) 一関保健所 難病担当佐々木様出席 ・公的支援制度について ・難病患者の防災について
参加者 (9名)	・すみれ会会員4名 ・支部長 ・賛助会員1名(訪問看護ステーションさくら社長) ・非会員2名(1名は健康だよりを見て参加、1名は北海道東北ブロック交流会医療講演会に参加一泊申込みした方に交流会誘う) ・保健所佐々木様

【総括】

勉強会を3回して来て成功事例があります。

今回、公的支援制度には何があるのか、どこに行って相談したらいいのかなど保健所佐々木さんに相談して勉強会の内容の一つにあげました。公的支援制度の中に「後期高齢者医療制度」が自分に該当するのでは…と勉強会后すぐに市役所に行き、相談して手続きをしてその日に認定されました。

認定を受けた岩淵さんは、友の会という団体に入り相談して、保健所の佐々木さんがこの話をしてくれたから「後期高齢者医療費制度」を知りました。医療費が75歳前で1割負担になるのは、大変有難いことです。と話していました。

この日は、小山世話人の病気療養のため活動休止、阿部さんへの黙祷、伊藤と佐藤が北海道東北ブロック交流会参加報告も会員同士、同じ方向を見るために連絡事項として掲げ、一日前に行ったみゆき会の資料を使わせていただき、佐々木さんが準備した資料とも合致して、急きょ参加したリハビリのさくらさんにもリハビリについて少しお話しをしていただき、11月の交流会の勉強会講師の約束をいただきました。すみれ会の参加者を見ると、病歴が1年~7年未満が9割です。年齢は55歳以上85歳までと様々です。交流会の内容に人それぞれ期待感があると思います。今、どうして勉強会③をして④もあるのかと思う人もいるでしょう。病歴の浅い人は病気を良く知りません。「なぜ・どうして」と思うことだらけ。すみれ会のミニ勉強会はもう少し続きます。

世話人代行 佐藤かつ子